

令和 7 年度第 2 回江南市地域公共交通会議 会議録

●日 時 令和 7 年 8 月 5 日（火） 午後 2 時 00 分～午後 3 時 23 分

●場 所 江南市消防署 3 階 講堂

出席 15 名（高井 勇輔（代理：石原 篤）、臼井 雅宏（代理：後藤 泰之）、森 稔、若林 亨修、小林 裕之、鈴木 浩示、高橋 正博、青山 多佳子、磯部 友彦、原田 光一郎、石屋 義道（代理：森本 恭平）、藤原 英智、山下 泰弘（代理：吉住 貴志）、近藤 和彦、鶴飼 篤市）
欠席 2 名（栗本 浩一、田實 直也）

●傍聴者数 9 名

●資料

- 資料 1-1 : 令和 6 年度地域公共交通に関する自己評価概要（中部様式）
- 資料 1-2 : 政策評価の評価方法
- 資料 2 : 市民アンケート内容(案)について
- 資料 3 : 令和 7 年度第 1 回江南市地域公共交通会議の結果
- 参考資料 1 : 活発で良い議論ができる会議のために。
- 参考資料 2 : 令和 6 年度江南市地域公共交通（いこまい C A R・バス）の利用状況
- 参考資料 3 : 江南市における地域公共交通の基本的な考え方
- 参考資料 4 : 江南市内のバス停・路線図
- 参考資料 5 : 江南市地域公共交通基礎調査スケジュール

開会（午後 2 時 00 分）

○市長あいさつ

○会長あいさつ

会 長 地域公共交通というのは地域で大事なんですけども、結構複雑なんですね。要するにいろんな人のいろんな要求がある。それに対して応えたいと思うんですけども、（要求と対応が）本当にマッチングできているかどうか、なかなかこれは見えにくいところがあります。マッチングできていればいいんでしょうけど、できてないところに関しては不満など、いろいろなご意見を頂いたりします。ですから、そのために地域公共交通会議がありまして、どんな意見があるかをまとめて、じゃあそれをいったいどうやって対応していくかということを（会議を通して）やっていきたいなと思います。総力を挙げて皆さんとやっていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

○議題

1. 役員の選任について

会長には磯部委員、副会長には鵜飼委員、監事には栗本委員及び青山委員を選出

○協議事項

2. 令和 6 年度地域公共交通に関する自己評価について（資料 1－1、1－2）

会 長 それでは、「令和 6 年度地域公共交通に関する自己評価について」について、事務局より説明をお願いします。

事務局 資料 1－1、1－2、参考資料 2～4 に基づき説明

会 長 ありがとうございます。この議題の主旨は何かといいますと、地域公共交通会議が法定協議会に変わりました。後のアンケートでも出てきますが、いずれ地域公共交通計画を作って、総合的にいろんなことやってきたいということがまずあります。しかしながら、まだそこまで至っておりませんので、地域公共交通会議の中で、市の政策を中心にまとめているということです。三本柱で、公共交通政策全般の話、具体的に名鉄バスの補助関係の話、いこまい CAR の補助の話を中心に現状分析をしていただいたということです。ですからまだまだ、本来の総合的な地域公共交通政策からみたら物足りなく感じるかもしれませんが、もしそういうことがありましたらどんどんご指摘いただいて、もっとこういう風に情報を集めてやってらい

いなどのご発言をいただければと思いますし、中身のまとめ方に関してもここは違うといった意見でもいいのかなと。いろんなご意見を頂ければなと思います。いかがでしょうか。

委 員 資料を見させていただきまして、やはり江南団地 E 線の利用促進が必要だと思ったんですけれども、ご説明を聞きますと、昨年度に利用実態調査を実施し、また今年度も実施するということでした。この利用実態調査について、昨年度はどれくらいの期間実施したのでしょうか。また今年度はどれくらいの期間実施するのでしょうか。

事務局 昨年度に実施しました江南団地 E 線の利用実態調査は、実際に職員がバスに乗車し、江南団地から江南厚生病院間の利用状況を確認しており、午前中を中心とした 5 便すべてを年間 4 回実施しました。今年度も既に 4 月と 7 月に実施しましたが、江南団地 E 線の実態をより詳細に調査するため、江南団地から江南厚生病院間だけでなく、江南駅から江南団地経由を含めた全体を調査し、江南駅から江南団地間のバス停から江南厚生病院間の利用状況などを調査したところです。これまでの調査の結果、全体的に利用者はそれなりにありましたが、江南団地から江南厚生病院間での利用者の方が多く、1 便当たり多くて 5～8 人くらいとなっています。なお、今年度さらに 2 回程実態調査を行う予定です。

会 長 ありがとうございます。かなり細かい調査をされているということです。他いかがでしょうか。どんなことでも構いません。

<意見なし>

会 長 では私から。資料 1-1 の 5 ページの政策評価で、市民一人当たりの公共交通利用回数が平成 28 年では 11 回だったのが令和 5 年では 9 回に下がってしまって、いろんな要因が考えられるとのことで、読んでいくと通学用のスクールバスの登場で利用回数が減ったとの考えがあります。11 回から 9 回に減ってしまったときに交通（利用者）が消えてなくなってしまったのか、または、自家用車に移ってしまったのかという疑問がありますが、実は違う形でバスに乗っていることが見えてきたということです。この違う形でのバス利用をどうやって把握していくかというのも、今後の課題だと思います。ですから、11 回から 9 回に減った要因が安心できるものなのか、危険信号なのか、見極めがあるとしたら、今ここに載っていない他の情報も調べる必要があると思います。それをどう調べるかにも工夫が必要です。これを行えば、総合的な見方ができますので、いろんな関係者さんと情報交換し、（評価については）続けていけたらと思います。皆様から何

かありますでしょうか。

委 員 名鉄バスの利用促進の取組で、令和 6 年 10 月に（運転士体験の）イベントをやっただいて大変好ましいなと思っているのですが、今年度も同じようなイベントを実施されたいということで、今、名鉄バス(株)ではお子さんのマナカでポイント還元のキャンペーンをしていたと思うので、もし時期が合えば、コラボができたらと考えました。またこのキャンペーンをやられているということ自体を、他の市町村ではホームページに載せていたりしますので、そういったことも参考にさせていただけたらと思います。

事務局 市では、昨年度からフラワーパーク江南で（運転士体験の）イベントを開催させていただいており、今年度もバージョンアップして開催したいと思っています。子供用マナカのポイント還元につきましては、市内の名鉄バス及び名鉄電車の利用増加に繋げてもらうため、市のホームページで周知しているところです。なお、今回のバス運転士体験のイベント開催日は、小児用マナカのキャンペーンの時期と重ならないためコラボはできませんが、今後のイベント開催の際にはコラボできればと思っています。

委 員 先ほど小児用マナカ（子供用マナカと同意）の政策ということでご紹介ありました。まさに 8 月 1 日から始まっておりまして、鉄道、グループ各社で連携して行っています。お子様が使った小児用マナカをポイントで還元する。実質ただで乗れる、というような施策でございます。昨年、バスは参加しませんでしたけども、鉄道でやった実績としましては、120%くらいのご利用があったと聞いておりますし、新しいご利用の方も増えたとの報告もありました。それに伴って、親御さんも出かけるという利用促進につながったとも聞いておりますので、今回の第二弾ではバスも参加しております。結果が少し楽しみであるということと、各自治体様にもいろいろとご紹介をして、いろんなイベントとマッチングできれば、より利用促進になると考えております。先ほど江南市におかれましては周知をしているとのことでしたので、今後いろんなイベントでも協働できたらと思います。夏休み期間に入りますけども、お子さんにご利用いただき、それが今後のバス利用につながれば、病院、商業施設などいろんなところへの利用促進になると思っていますので、今後の経過を見ていきたいというところでございます。

会 長 ありがとうございます。事務局はこの名鉄バス(株)の取り組みを把握されていますか。

事務局 昨年度、名鉄電車が実施しました小児用マナカのキャンペーンは、把握し

ております。今回は、名鉄バスが小児用マナカのキャンペーンに参加する
ということを知り、（市の）ホームページにて周知を図ることにしたもので
す。

委 員 公共交通政策のなかで、北部地域に課題があるということですが、これは
交通空白地域ということなのか、それとも地域の皆様から要望等出ている
のか。また、新たな公共交通の導入の可能性を探っていますが、ど
ういったことを考えておられますか。北部地域について少しお話しただ
ければと思います。

事務局 江南市の公共交通の考え方では、名鉄バス、名鉄電車、大口町コミュニ
ティバスがあり、バス停からの距離が徒歩圏外のエリアにつきましては、い
こまいCARを走らせることで交通空白地はないという位置づけになってい
ます。市の北部地域について検討し始めたのは令和5年からで、いこまい
CARの午前中の予約がなかなか取れないという背景から、いこまいCARの
混雑状況、逼迫状況に対応するため、新たな公共交通を検討するという方
針を示しました。市の北部地域が選ばれた経緯としましては、既存の公共
交通への影響が少ないエリアで、北部地域にあるフラワーパーク江南や蘇
南公園へのアクセスに関する課題、利用が低迷する江南団地E線のあり方
を検討する必要があるためです。昨年度、江南市地域公共交通会議の外部
部局として地域公共交通会議検討部会を立ち上げ、具体的な検討を開始し
ましたが、地域に入って具体的な公共交通に対する需要などを聞くべきで
あるとの意見があったため、今年度、古知野北小学校区、草井小学校区、
江南市北西部の宮田小学校、藤里小学校を中心とした地域の3か所で、地
域懇談会を開催しました。なお、地元の皆様からいただいた意見を取りま
とめたうえで、今後の公共交通を検討する予定です。

会 長 地図を見ますと、名鉄電車の線路から少し遠い地域というのが北部の共通
的な話題だと思います。やはり鉄道に近い地域と遠い地域で違うという、
そういう意味合いがあるのでしょうか。北部のイメージとしては。

事務局 江南市内を走っているバス路線のうち、江南団地E線より北を共通する地
域として考えました。

会 長 市内でもいろんな条件が違うということで、その一つとして、一番弱い地
域を取り上げて先行して行っているということでした。ありがとうございます。
他の方いかがでしょうか。自己評価として市の取り組みをいろいろ
まとめているわけですが、もうちょっとこうしたらいいなどの話
がありましたら、取り入れるとさらに良くなると思います。ご意見が特に

なければ、協議事項という形ですので、ご承認いただけるという形でよろしいでしょうか。

<異議なし>

○協議事項

3. 市民アンケートについて（資料2）

事務局 資料2、参考資料5に基づき説明

会 長 ありがとうございます。議題は市民アンケートということで、大きくは、参考資料5で書かれた、地域公共交通計画を作るためのいろんな情報収集、分析ということです。その中の一部が市民アンケートということになりますから、もちろん大きな枠組みのところの議論でも構いませんので、何かございますか。

委 員 今回のアンケート用紙について確認したいのですが、先ほど事務局の説明でもありましたとおり、名鉄バスは江南市内では10路線ということでありまして、今回のOD調査・アンケート調査については、補助金に関わる路線について（調査する）ということだろうとは思いますが、こちらのアンケート用紙のご協力をお願いの中に、「補助路線4路線に対するアンケート・ご意見」とあるという旨の文言がないものですから、名鉄バス全体の路線に関するアンケートに捉えられる懸念がございまして、補助路線4路線についてのアンケートですという旨の追記をお願いしたいのですが、その点について（事務局の）見解はいかがでしょうか。

事務局 まず、市民アンケートとバス利用者アンケートの2種類の資料を付けております。市民アンケートにつきましては、基本的には名鉄バス全体の路線の内容をお答えいただく予定としており、バス乗降者に対する利用者アンケートにつきましては、市が補助している路線についてアンケートを実施します。お配りしている資料ではまだ江南・病院線しか記載がありませんが、江南団地線等、路線ごとに書き直して、アンケートを行う予定です。

会 長 一研究者の立場として言いますと、一般論としてデータはたくさんとれた方がいいなと思います。補助路線だけではなく、全ての路線について集まった方がいいとは思いますが、そこはいろいろな事情がありますので、うまいこと整理してもらえればと思います。ありがとうございます。他いかがでしょうか。

<意見なし>

会 長 一つわたしから、今回この情報を集めるときに、いろんな情報を集めたいということですが、先ほどスクールバスのお話をしました。何かといいますと、市民に対するアンケートも大事なんですけども、市の施設へ市外から来る人達はどのような交通をするのかという視点も何らかほしいのではないかなと思います。そうすると、細かいことはできませんので、病院や学校など、市の主要な施設に絞って、どういう人がどこからくるのかなというのがわかると、またいろんな役に立つ情報になるのかなと思います。学校に聞いて学校がわかっている情報だけでやるなど、できるだけ簡単で構いませんので、情報収集をしてほしいと思いますので、ぜひご検討いただければと思います。

事務局 今色々な公共交通がある中で、本来は全てを網羅して（交通について）ご意見をいただくべきだとは思いますが、ご説明した調査は業者の方に委託のうえ進めていく内容になりますので、それ以外の部分については、できる範囲とはなりますが、職員で調査を行いたいと思います。

会 長 その他、ご意見よろしいでしょうか。それでは、今年は一生涯懸命情報収集をしていくということをやってみて、次年度は江南市としてどういう方向性でやっていくという話をまとめていくということになります。もちろん、今日の資料にも出ていますが、（現在実施している）江南市の取り組みもベースにしてやっていくことには間違いはないんですけども、さらに良くしていくためには、どういうところが公共交通計画として重視していけたらいいのかということが来年度の課題となります。では、こういった調査をしていくということに対して、全員一致で承認として問題ないでしょうか。

<異議なし>

事務局 来年度に向けて、現行では2か年の計画で策定を予定しております。まずは現状の江南市の地域特性にあわせた交通モードがどのようなものが適切なのかを諮っていくために、1年間かけて調査をしっかりとさせていただきたいと考えております。2年目は、あがってきた調査の情報をもとに分析をかけまして、地域交通計画という形に変換して進めていきたいと考えております。

会 長 ありがとうございます。よろしいでしょうか。ご意見のほか、ご要望でも構いません。

<意見なし>

○報告事項

4. 令和7年度第1回江南市地域公共交通会議の結果について（資料3）

事務局 資料3に基づき説明

○報告事項

5. 令和7年度江南市地域公共交通会議会計予算の流用について

事務局 資料3に基づき説明

会 長 報告事項について、ご発言ありますか。なければその他事項に進みます。

○その他

会 長 その他について、ご意見・ご要望などいかがでしょうか。

<意見なし>

会 長 それでは、ご質問・ご意見等無いようですので、令和7年度第2回江南市地域公共交通会議の進行を事務局にお返します。

事務局 はい、会長には、議事進行していただきまして誠にありがとうございました。委員の皆様方におかれましては、長時間に渡り慎重なご審議賜り、誠にありがとうございました。以上をもちまして、令和7年度第2回江南市地域公共交通会議を閉会させていただきます。本日は誠にありがとうございました。

閉会（午後3時23分）